

1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
7月	平均気温(°C)	25.4	23.0	24.6	24.3	25.6	25.2	25.2	24.2	月間平年比 +1.0°C (高)
7月	降水量 (mm)	57.0	79.1	77.0	41.1	21.5	45.1	155.5	158.1	月間平年比 98% (並)
7月	日照量 (h)	76.4	38.7	38.7	60.9	78.0	70.0	193.1	169.6	月間平年比 114% (やや多)

2022 7月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 35.7°C (7/10) 最低気温 18.0°C (7/24) 7月猛暑日観測合計：3日
- ◆ 梅雨情報：梅雨入り 6/6 (平年比1日早い。昨年比8日早い) 梅雨明け：6/27 (史上最速 平年比22日早い、昨年比19日早い)
- ◆ 降水量： 下旬平年比 48% かなり多く経過。 豪雨 40.5mm (7/3) 48.5mm (7/12) 10mm以上観測5日
- ◆ 日照量： 下旬平年比 111% やや多く経過。

2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

- ① 結実状況：プラム：概ね良好。(貴陽結実不良、太陽一部結実不足) もも：概ね良好。
和梨南水：やや不良。 西洋梨：良好 (一部不良)。 おうとう：佐藤錦は結実不足、その他品種は概ね良好。
りんご：5/25 広域結実調査実施。果そう結実率 73% (昨年 49%) ふじはカラマツ (不受精) 散見。結実バラつきあり。
一部園地で結実不足。その他品種は、概ね良好 (一部、ゴールド・秋映などで中心果の凍霜害あり)
秋映中心に胴サビ多い傾向。園地により、スイート、ゴールド、ふじにも散見。
- ② 果実肥大：ふじ 前年比 100%、平年比 96%。 あかつき 前年比 97%、平年比 94%。 川中島白桃 前年比 100%、平年比 96%
南水 前年比 102%、平年比 96%。 ラフランス 前年比 95%、平年比 103%。
- ③ 生産基盤 (推定)：ぶどう 346ha (昨対+3)・りんご 150ha・もも 83ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 7ha・柿 6ha・プラム 38h
- ④ 凍害：冬季の低温により、モモなどで樹体枯死、枝単位の枯れ込みが散見される。また、落花後の樹勢衰弱も散見された。
- ⑤ 収穫予想：プラム：ソルダム 7/26、サマーエンジェル 7/29、貴陽 8/1、きよか 8/12、太陽 8/18、秋姫 9/5
もも：白鳳 7/29、あかつき 8/1、なつっこ 8/10、川中島白桃 8/25、黄金桃 8/27
りんご：シナノリップ 8/10、つがる 8/18 ナシ類：幸水 8/20、オーロラ 8/20
有核巨峰 8/28 ナガノパープル 8/28 種なし巨峰 9/4 シャインマスカット 9/19 ピオーネ 9/14 ルージュ 9/25
- ⑥ シャイン縮果症：7月下旬 (摘粒後～袋掛け後) から発生。粒単位で発生。粒全体が茶色になる。水分ストレス・着粒過多による養分競合等が原因。
- ⑦ シャイン突然枯死：7月下旬から発生が目立った。成木に多い。葉の黄変、樹勢低下から7～10日以内の樹全体枯死に至るのが特徴。追肥・かん水では改善は図られなかった。
- ⑧ ハウス
 - ◆ ぶどう：シャインピーク 8月上旬頃 (昨年より遅い見込み)。6/24の高温により、主に水まわり前の房に日焼け発生し、減収の要因となる可能性あり。7月中下旬の曇天で糖度上昇遅れた。全体には作柄良好。生産量は昨年を上回る見込み。
- ⑨ 防除ポイント
 - ◆ 黒とう病：7月末で房発生はない。早期梅雨明けにより感染リスク下がった模様。
 - ◆ 晩腐病：梅雨期間の感染は平年より少ない見込み。
 - ◆ 黒星病：6/15時点、一部園地で葉・果実病斑が散見されるが、全体的には極少発生。
 - ◆ せん孔病：5月上旬頃～春型枝病斑を確認。6月上旬頃～葉病斑を確認しているが、発生密度は低い。
 - ◆ もも縮葉病：5月上旬から葉に病斑を確認。(薬剤がかかりづらい枝 (樹の先端)、休眠期防除が遅れた園地)
 - ◆ プラム スモモヒメシンクイ：6/29 第一世代増加。
 - ◆ カメムシ類：5月中旬頃から、カメムシによる果実・葉への被害が散見される。
 - ◆ ケムシ類 (マイマイガ)：5月中旬頃から、山際の園地中心にマイマイガの発生が散見される。
 - ◆ ハダニ類：6月下旬から連日高温が続き、ハダニ類が散見されている。
 - ◆ コガネムシ類：6月下旬から山間部を中心に被害確認。